



# ほめ達のいう「ほめる」とは・・・

竹下 幸喜

皆さん、ほめていますか？ほめる達人 竹下幸喜です。

「ほめる」という言葉を聞いて、みなさんはどんな印象をおもちでしょうか？多くの人は、「ほめる」という言葉を聞いて「おだてる」「おべんちゃらをいう」「甘やかせる」「ほめられて育った人間は弱い」など、ポジティブというよりも、どちらかというとなガティブな印象をお持ちの方が多いかもしれません。

しかし、ほめる達人のいう「ほめる」とは、「自分の周りの人やモノ、起きる出来事の価値を発見して伝える」ということ。「価値発見の達人」が「ほめる達人」なのです。「ほめる」という事を意識し始めると、皆さんの脳が「ほめ脳」になります。「ほめ脳」になると、いいことが二つあります。

ひとつ目は、今まで見えなかったものが見えるようになります。「空がきれいだ。」「星がこんなに輝いている。」「子どもは笑うとこんなに目尻が下がる。」「嫁さんの優しさってこんなところだ。」など、今まで見過ごしていた所に気付くようになります。



## Profile

竹下 幸喜(たけした こうき)

1967年生まれ。

一般社団法人 日本ほめる達人協会

特別認定講師

ほめる子育て研究所 所長 竹下幸喜

企業や子育てに「ほめて、認めて、励ます指導」を広げている。

もうひとつは、今まで湧かなかったプラスのアイデアが湧いてきます。例えば、自分に大きなピンチが来ているとします。「この問題ってすごく大きなピンチだが、今、この段階できちんと解決して、二度と起きないようにシステム作りができたなら、この問題はピンチの顔してやって来てるけど、中身はチャンスだよ。」というふうピンチのすぐ横にかくれたチャンスに気付き、次のステップにつなげていく事ができるようになります。これが「ほめ達」です。

この考えを持つと皆さんの心がすごく楽になってきます。ピンチもチャンスに変えることができるので、毎日がワクワクしてきます。そんな「ほめ達」に皆さんにもなっていただきたいと思います。

次回は、「ほめ達」になるポイントをお伝えしますね。